

内郷村報

天法人則
ニ從順ナ
ルベシ

内郷村報の 六大使命

- 一、本報の編輯を担當して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村の公私各種の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、進現和進努力の實現を期す。
- 三、本村社会事業の發展を期す。
- 四、村内の善事興行を奨励し、且之を變遷す。
- 五、本村を本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、俗弊を根絶し、且其發展向上を期す。

大いに之に共鳴、それ、惠
鹹金して三着をつくり、惠
原氏と一緒に寄贈の手續を
をとりたる由、真に奇篤の

左は御座手に寄せられた、小學
生より大學生迄を網羅する一家十
一人が銘々自筆せる句稿である。
家庭忘年會

勅題 朝陽映島

(賀状中より抜萃)

さし昇る朝日に映えて千松島
松のみどりもいやまさららん
朝陽照る大和島根の富士ヶ嶺は
よにゆるぎなき姿なりけり
東海の高麗はじき初日かな
千早振る神の子鳥や初日影
四海波靜かに島の初日かな
旭日瞳々映八洲 皇威増輝是神州
東洋天外拂雲霧 長打迷蒙浴聖猷
旭日瞳々海上浮 映光莊重照神州
誰知聖戰迎三歲 四億民衆伏帝猷
みいくさのかちしたよりをうれしくも
卯といふ年はつ耳にして
元且も夢飯で祝ふ長期かな

山田 田口 元堂
川 侯 石川 篤村
同 同
二本松 渡邊 道眠
山田 田口 元堂
東京 遠藤 二郎
福島 角田 平香

御蔭様で

第百號を發刊

大内民惠

本紙第百號を發刊するに
當つて、聊か其感想の一端
を述べさせていたゞかうと
思ふ。

双葉山が、七十回連勝と
いふ瀬戸際で、惜しくも一
敗地に塗れ、あたら前人未
踏の記録を、未曾有の記録
を以て、其終末をつげた。
古人は「百里の道九十九
里にして未だ半ばならず」

といつたが、我々は大きい
鑑みざるべからざるを痛感
させられた。

回顧するに、予が六大使
命を其本領として、本紙を
創刊したのは、實に昭和五
年七月であつた。爾來倅ひ
にも辛うじて、年を閲する
こと茲に十年、號を重ねる
こと茲に百號、其當時は二

千を、現在に在りては、三
千乃至四千(社説並に記事
により増減)を發行し、村
内に千五百、村外即ち全國
は勿論世界各地に散在する
知友諸子に、其餘を頒ちて
來たのである。其發送に關
する庶務文は、事務員に一
任してあつたのであるが、
案文淨書から編輯校正に到
る迄、一字一句悉く予が万
年筆にかゝつたものである
ことを思ふ時に、聊か感無
量の思ひなきにしもあらず
である。

生來疎懶漢たる予をして
兎にも角にも、此處迄辿り
つかしめた因由は、抑々何
處にあつたか、其大要を叙
して、讀者各位の参考に資
しておかうと思ふ。

其二
次に印刷費、雜費、郵税
等の問題であるが、之は創
刊當時も聲明した通り、全
く予自身の生活費を節して

過去九十九號を發行する
毎に、其掲載記事に關聯せ
る、内外公私の各方面より
必ず五通乃至十通以上の、
批教乃至激勵の書信を戴か
ないことはなく、又其都度
面接する幾多の人々からも
同様のお言葉を戴かないこ
とはなかつたのである。

本紙發行は大内一家の事業にし
て、其の社説は予に對する慈
言を發するものなり。

之を支持すると同時に、其
言論主張等に對しては、斷
じて他の制肘を受けないと
いふ方針をとつたのである
が、しかも其を諒承の上に
公私の團體、内外の知友等
より、陸續懇志を寄贈せら
れ、其帳尻に赤字を見るは
稀有で、零細ではあるが、
常に若干の餘剰をいたしつ
て、今日に到つたものであ
る。但し予の報酬を計上し
てないことは、勿論なので
ある。

其三
次に第三種郵便の認可
問題である。之は或期間休
刊すると、其認可を取り消
され、再出願するとなると
更に納金を要すると共に、
其認可ある迄の期間は、第

四種郵便の適用をうけ、幾
倍かの郵税を課せらるゝ事
となるのである。其手數と
費用とを考慮する時に、ど
うしても休刊をすることが
出来なかつたのである。

以上三つの因由が、不肖
の予を驅つて、終に今日を
あらしめたものであつて、
之を要するに、讀者各位の
鞭撻贊助と、官規の嚴格徹
底とが、それを然らしめた
ものであつて、唯々お蔭様
であつたと、衷心鳴謝感激
に堪へない次第なのである

故福澤先生は「人事無邊
」といはれたが、實際其通
りであつて、何時迄之を繼
ぎ

◎從業員大募集!

壹千名(経験が無くても仕事が出来ます)
満十六歳以上五十歳まで(身体健康のもの)
實業社にて賃摺いたします
一三圓以上四圓(諸賃制)就業時間八時間乃至拾時間
世帯持には住宅を無料で貸與します
獨身者のために寄宿舎あり(食費燈具共一日四十五錢)
緩坑、住吉坑、町田坑(常盤線緩坑下車)長倉坑(本線下車)
希望者は最寄職業紹介所か町村役場又は直接會社に
御申込下さい!

東北第一の大炭礦!!
磐城炭礦株式會社礦業所
(福島縣石城郡内郷村大字綴)

本紙定價 一月五錢 半年三十錢 一年六十錢
發行所 福島縣石城郡内郷村大字綴二
印刷所 福島縣石城郡内郷村大字綴二
電話 磐城 四八〇
大内民惠 謹啓

教育制度改革概論

矢野 恒太序 大内 民憲著 (四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き随れる現代の教育制度を解説し、學理を貫き、歴史を踏襲さず、新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の發同放聲に望む。さぞと云ふ一人の執筆者も現はれず。

我國教育學界の權威 前京大總長小西重直博士 寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試練ニ基ク、學界泰西ノ大精神ヲ拜

發行所 日本評論社 東京三丁目 取次所 内郷村報社

昭和十三年度追加豫算

舊臘十二月二十日午後一時より、村會を招集、左記の決議をなした。

- 一金貳千貳百貳圓也 追加豫算額
一金拾八萬九百貳拾九圓也 已定豫算額
合計金拾八萬參千百參拾壹圓也

戦地より寄附

〔其一〕在支〇〇部隊の遠藤文治君より、本村愛國婦人會へ、金五圓を寄贈。

新年祝賀式(元旦)

- 一、役場 午前八時
二、學校 同 九時
三、磐城炭礦 同十時
各山神山に於て役員及從業員代表參列

村銃後會に寄附者

町田無名氏より賞與の金壹圓也
一部を割きて 磐炭分會評議員早川嘉七氏より賞與の一部を割きて。

特志慰問

〔其一〕大字高坂字御殿の各商店は、連合して資金を募集し、同字より出征したる、將兵の各家庭を訪問し

選舉有權者數

昭和十三年十二月二十五日を以て確定したる、縣會議

△縣別 福島、八二。宮城、四四。岩手、四八。山形、二七

隊働賃金 九八八〇七七
精勤賞金 六九〇〇〇
酒肴料 二〇〇〇〇
台慮奉戴青年勤勞報國團炭

金壹圓五拾錢 同郷
金貳圓 同郷
金拾圓 同郷
金壹拾圓 同郷

急告

昭和大正十四年度徵兵検査 自大正七年十二月二日生 至大正八年十二月一日生

納税期限

一月二十五日限りノ納税ハ 左記ノ通りニツキ其期限ニ 後レザル様注意ノ事。

大麻頒布

今年本村に於て頒布したる大麻は、左記の通りにて 逐年増加の傾向あるは、一

村議辭職

村會議員志賀隆壽氏は、今回湯本町に轉居したるを以て、一月五日を以て、辭職届を提出、受理された。

建築材料検査

本村第二尋常小學校々舎 増築工事に關して、一月六日午前九時より同校に於て 沼田村長及び村會議員(會社側議員を除く)一同參集の上、材料の検査を行つた

故勇士の叙勳

昨年十一月二十日附を以て、好間村出身、本村高坂 居住、故陸軍工兵上等兵松 井銀次郎氏は、支那事變の 功により、功七級金鷄勳章 並に年金百五十圓及勳八等 白色桐葉章を授けられた。

職工採用試験

磐炭にて豫て募集中の職 工徒弟の採用試験は、一月 八日体格検査、同十五日學 科試験を執行、約百三十名 を採用する見込の由。

資金募集

舊臘十二月二十五日、方 面事業強調週間の一日を好 機として、全村の方面委員

